

令和6年度 第1回むつみ会委員会 記録

期日 6月29日(土)

会場 視聴覚室

1 会長挨拶

青山 会長

2 第1回「親の学び講座」 14:00~15:20

演題 「生徒・教員・保護者が協働し学び合う時代～保護者が学校や生徒に何をすべきか?～」

講師 水谷 千万夫 氏 (公益財団法人 富山県PTA親子安全会 理事長)

講演要旨

PTAとは、Parent (保護者) Teacher (教師) Association (協会)を指し、児童生徒の健全育成を目標とした組織である。教育は学校だけが行うものではなく、家庭や地域、PTAにもそれぞれ役割があり、一体となって教育を行っていく必要がある。

水谷氏は、現在企業で「安全衛生」の推進を担当されている。日本の労働安全の原点となったお話や、災害発生のしくみ、ゼロ災運動の三原則などに触れながら安全とは何かについて詳しく説明していただいた。

また、安全衛生の話の中で、一枚の割れたガラスを放置しておく、次から次へとガラスが割られ、やがて街全体が荒れていくといった「割れ窓理論」を紹介された。この理論は教育環境に通ずるものである。一人が割れてしまうと、周りも割れていってしまう。さらには、大人が割れていると、子どもも割れてしまう。大人が成長しないと、子どもは割れ窓のままになってしまう。だからこそ、大人たちが日々学び、成長していくことが大切である。そして、一人一人かけがえのない生徒たちが安全に楽しく生活できるよう、学校やPTAで話し合いを行っていくことが必要不可欠である。

〈質疑応答〉

Q:安全衛生の話は、会社員として共感できる部分が多くあった。大人が日ごろ楽しく働いているかどうか問題であり、毎日疲れた顔で家に帰っていたら、それを見た子どもたちは大人に対する期待が持たなくなってしまうのではないかと思う。話の中で、大人の学びが大切であるとあったが、具体的にはどのようなことを学んでいけばよいのか?



A：大人の学びといっても、仕事で忙しい中時間をとるのはなかなか難しい。まずは、子どもと会話をしてほしい。子どもとの会話の中から、自分は何が足りないかを見つけてほしい。その足りない部分をどうしたらよいかを考えることも学びの一つである。また、様々な講演会もあるので、参加してみるのもよいと思う。

3 第1回むつみ会委員会 15:30～17:00

(1) 校長挨拶 番留 幸雄 校長

(2) 本校の進学状況について 大橋 秀一 副校長

○本校の進学状況と今後の大学進学について

- ・ 今春の進学状況について
- ・ 今後の大学進学はどうなるか
- ・ 大学が求める学力とは

(3) 高校総体等部活動活躍状況及び2学期の行事について 樋掛 雅則 特活部長

- ・ 部活動加入状況
加入率：91%強
- ・ インターハイ、全国高等学校総合文化祭について
- ・ 休日の部活動の服装について
- ・ 今後の学校行事について
野球応援、体育大会、文化活動発表会

(4) 北辰協議会 生徒会執行部より

- ・ 服装選択制の試行期間について
- ・ 北辰協議会の位置づけ、規約について

(5) その他

第2回むつみ会委員会、「親の学び講座」について

日時：11月30日（土）午後

講師：後日連絡

(6) 閉会のあいさつ 藤井 副会長